

都道府県等が独自に行う学力調査結果等を効果的に接合する手法の開発（案）

横浜国立大学 委託研究

全国学力・学習状況調査の補完データとして都道府県が独自に実施している学力調査等の結果を用い、児童生徒の学習状況や学習指導との関連を多面的に分析した。

都道府県または政令指定都市が独自に実施した学力調査は平成 19 年度で 46 を数える（表 1）。調査規模、調査対象教科などその条件は異なるが、これらの調査結果を全国学力・学習状況調査の補完データとして使用し、児童生徒の学習状況や学習指導との関連を多面的に分析する可能性を本調査では提示する。

都道府県・指定都市が独自に行う学力調査には、全国学力・学習状況調査のような項目数では、質問紙調査を実施していない例が見られる一方で、都道府県・指定都市が独自に行う学力調査では、全国学力・学習状況調査の対象教科となっていない社会、理科、英語等を実施している例がある。今回の調査分析は、相互の相関を確認してデータを補完し合うことで不足している部分を相互に補う可能性を示唆することを目的とする。

この調査は横浜国立大学が文部科学省委託研究「全国学力・学習状況調査の結果を活用した調査分析手法に関する調査研究」（テーマ：都道府県等が独自に行う学力調査結果等を効果的に接合する手法の開発）の一部を構成している。また、上記の独自の学力調査に加えて、既存の各種統計調査の結果も適宜投入することも効果的と考え、分析データについては、図 1 に示す構成を基本とした。（図 1 に示されているデータのうち、今回の分析では 19 年度の中 3 の教科評定値を用いた。）

表 1 都道府県・政令指定都市の独自調査について（文部科学省）

		19年度		18年度		17年度	
学力調査を実施した自治体数		46	(31 都道府県 15 指定都市)	52	(39 都道府県 13 指定都市)	50	(38 都道府県 12 指定都市)
調査規模	全児童生徒対象	35	(24 都道府県 11 指定都市)	42	(32 都道府県 10 指定都市)	33	(24 都道府県 9 指定都市)
	抽出	10	(6 都道府県 4 指定都市)	7	(5 都道府県 2 指定都市)	17	(14 都道府県 3 指定都市)
	その他	3	(3 都道府県)	3	(2 都道府県 1 指定都市)	1	(1 都道府県)
調査対象教科	国、算・数、英(中のみ)	7	(4 都道府県 3 指定都市)	10	(7 都道府県 3 指定都市)	11	(9 都道府県 2 指定都市)
	国、社、算・数、理、英(中のみ)	27	(18 都道府県 9 指定都市)	35	(27 都道府県 8 指定都市)	33	(24 都道府県 9 指定都市)
	その他	12	(9 都道府県 3 指定都)	7	(5 都道府県 2 指定都市)	6	(5 都道府県 1 指定都市)

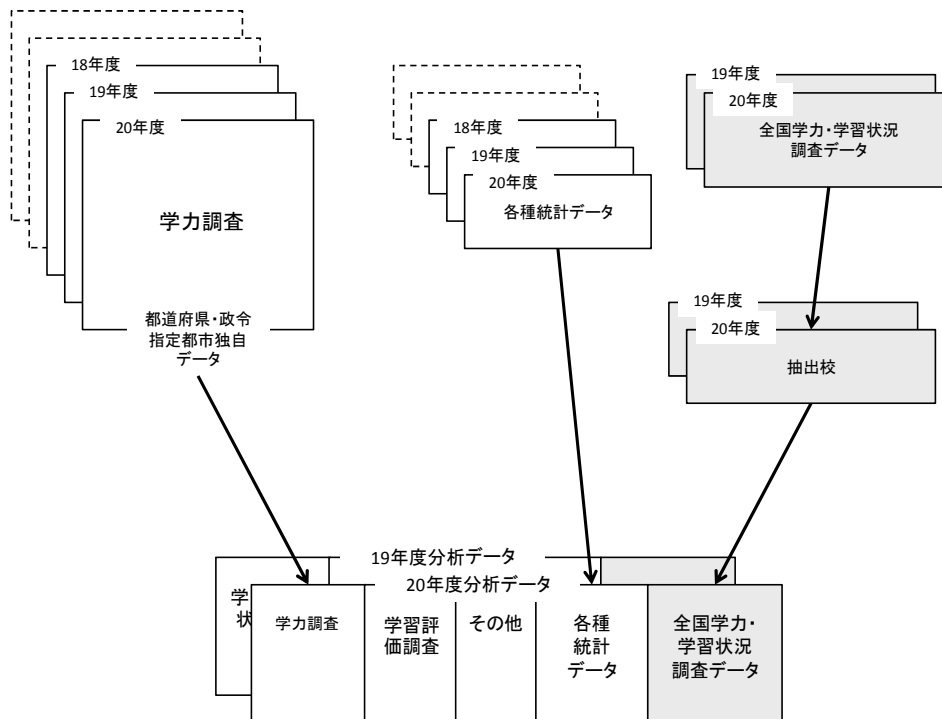


図1 分析データの構成について

分析 都道府県が独自に実施した学力調査を補完データとして使用

X県の18年度及び19年度の学力調査を補完データとして、全国学力・学習状況調査の結果を再分析した。この学力調査は、小学校5年生及び中学校2年生それぞれ約2000名に対して、小学校では4教科、中学校では5教科を調査対象としたものである。1月末から2月初旬に実施することから、次年度の4月に実施される全国学力・学習状況調査と児童生徒は同一であり、両者を統合して分析することができた。

X県の学力調査は抽出によるため、分析に先立ち、その代表性を検証した。抽出校の国語A・B、算数・数学A・Bの平均正答率について、非抽出校と比較した結果が表2～3である。いずれにおいても、抽出校と非抽出校に差はなく、その代表性が確認された。

表2 抽出校と非抽出校の教科別平均正答数、平均正答率（20年度小学校）

	Not Selected(n=807)	Selected(n=68)	t(873)	p
平均正答数_国A	11.57 (1.47)	11.56 (1.48)	-0.06	.949
平均正答数_国B	5.98 (0.99)	5.87 (1.08)	-0.87	.387
平均正答数_算A	13.52 (1.35)	13.46 (1.35)	-0.37	.708
平均正答数_算B	6.81 (0.96)	6.70 (1.05)	-0.89	.372
平均正答率_国A	64.29 (8.16)	64.22 (8.23)	-0.06	.949
平均正答率_国B	49.87 (8.27)	48.96 (9.03)	-0.87	.387
平均正答率_算A	71.16 (7.08)	70.83 (7.12)	-0.37	.708
平均正答率_算B	52.35 (7.39)	51.51 (8.10)	-0.89	.372

表3 抽出校と非抽出校の教科別平均正答数、平均正答率（20年度中学校）

	Not Selected(n=383)	Selected(n=60)	t(441)	p
平均正答数_国A	24.79 (2.24)	24.81 (1.38)	-0.06	.948
平均正答数_国B	6.09 (0.86)	6.05 (0.60)	0.36	.722
平均正答数_数A	22.34 (3.48)	22.51 (2.71)	-0.35	.723
平均正答数_数B	7.27 (1.36)	7.20 (1.08)	0.38	.705
平均正答率_国A	72.94 (6.58)	73.00 (4.05)	-0.07	.947
平均正答率_国B	60.97 (8.63)	60.57 (6.02)	0.35	.724
平均正答率_数A	62.07 (9.68)	62.54 (7.52)	-0.35	.724
平均正答率_数B	48.52 (9.06)	48.06 (7.18)	0.38	.707

次全国学力・学習状況調査における、国語A・B、算数・数学A・BとX県の学力調査の対象教科の平均正答率との相関係数を算出した。19年度については表4～5、20年度については表6～7がその結果である。19年度については、中学校3年時の教科評定値も利用できたことから、それとの相関係数をあわせて算出した。

国語A・B、算数・数学A・Bと県の国語、算数・数学の学校を単位とするそれぞれの正答率の相関は、小中で多少異なるものの、0.7前後に、さらに社会、理科、英語についても0.6前後の値を示した。教科評定値との相関は、19年度のみであるが、それよりもやや低い値となった。

表4 全国学力学習状況調査と県学力調査との教科間の相関
(19年度小学校)

	国B	算A	算B	県・国語	県・算数	県・社会	県・理科
平均正答率_国語A	.90	.89	.91	.72	.64	.59	.56
平均正答率_国語B		.88	.93	.70	.64	.59	.54
平均正答率_算数A			.93	.69	.65	.57	.57
平均正答率_算数B				.73	.69	.57	.64
県・国語				.61	.61	.52	
県・算数					.58	.59	
県・社会						.52	

表 5 全国学力学習状況調査と県学力調査との教科間の相関
(19 年度中学校)

	国B	数A	数B	県・国語	県・数学	県・社会	県・理科	県・英語	国語評定	数学評定	社会評定	理科評定	英語評定
平均正答率_国語A	.84	.79	.82	.75	.67	.57	.56	.72	.52	.59	.36	.34	.56
平均正答率_国語B		.83	.91	.67	.66	.54	.57	.72	.56	.58	.37	.49	.60
平均正答率_数学A			.94	.73	.81	.72	.70	.76	.69	.58	.45	.52	.63
平均正答率_数学B				.70	.77	.65	.70	.77	.64	.64	.44	.56	.63
県・国語				.64	.60	.63	.75		.57	.61	.46	.47	.56
県・数学					.63	.68	.69		.54	.60	.42	.47	.52
県・社会						.60	.60		.62	.56	.44	.32	.54
県・理科							.57		.55	.56	.47	.42	.50
県・英語									.54	.72	.39	.42	.57
県・国語評定									.59	.51	.56	.67	
県・数学評定										.63	.57	.73	
県・社会評定											.63	.63	
県・理科評定												.55	

表 6 全国学力学習状況調査と県学力調査との教科間の相関
(20 年度小学校)

	国B	算A	算B	県・国語	県・算数	県・社会	県・理科
平均正答率_国語A	.92	.92	.92	.80	.82	.73	.68
平均正答率_国語B		.92	.93	.76	.84	.70	.70
平均正答率_算数A			.93	.79	.86	.73	.72
平均正答率_算数B				.77	.81	.70	.73
県・国語					.74	.68	.61
県・算数						.69	.70
県・社会							.65

表 7 全国学力学習状況調査と県学力調査との教科間の相関
(20 年度中学校)

	国B	算A	算B	県・国語	県・数学	県・社会	県・理科	県・英語
平均正答率_国語A	.92	.86	.92	.71	.64	.70	.61	.66
平均正答率_国語B		.88	.92	.71	.67	.73	.58	.63
平均正答率_算数A			.95	.68	.81	.81	.66	.63
平均正答率_算数B				.70	.72	.79	.63	.68
県・国語					.59	.59	.63	.66
県・数学					.78	.61	.63	
県・社会						.73	.60	
県・理科							.48	

その後、19 年度県学力調査の社会、理科、英語の成績をクラスター分析¹により、各教科における成績が高位、中位、低位の 3 クラスターを抽出した。その上で、各クラスターにおける全国学力・学習状況調査の学校質問項目の比較を行った(表 8～12)。なお、表では、複数ある選択肢のうち冒頭にある選択肢(以下、「選択肢 1」と呼ぶ)の割合に着目して、青色を付けている。低位校と中位校または中位校と高位校の間で 5 ポイント以上 10 ポイント未満の差が見られる場合には水色、10 ポイント以上の差が見られる場合には青色を付けている。さらに、これらのうちから低位クラスターから高位クラスターまでの 3 つのクラスターについて、選択肢 1

の割合が一貫して増加または減少しているものを太枠で囲んでいる。

高位校に見られた特徴として、小学校社会では、「熱意を持って勉強している」、「学校図書館図書標準を達成」、「全国学力・学習状況調査の結果や報告書を参考」などが認められる。

小学校理科では、「全国学力・学習状況調査の分析、反映」、「全国学力・学習状況調査の結果や報告書を参考」などが高位校に認められる。

中学校社会では「熱意を持って勉強している」、「朝の読書」、「全国学力・学習状況調査の活用」などが高位校に認められる。

中学校理科では、「熱意を持って勉強している」、「学校図書館図書標準を達成」、「生徒がコンピュータを使う学習活動」、「全国学力・学習状況調査の結果や報告書を参考」などが高位校に認められた。

中学校英語では、「朝の読書」、「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」、「全国学力・学習状況調査の活用」、「数学における習熟の遅いグループに対する少人数指導」などが高位校に認められた。

表 8 小学校社会（高中低）学校質問項目

	低位	中位	高位	合計
学校数	18	32	18	68

学校質問紙回答_11／児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	1(5.6%)	12(66.7%)	5(27.8%)	18(100.0%)
中位	4(12.5%)	24(75.0%)	4(12.5%)	32(100.0%)
高位	5(27.8%)	11(61.1%)	2(11.1%)	18(100.0%)

学校質問紙回答_15／第6学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童の割合

	在籍していない	0.5%未満	1%以上、3%未満	3%以上、5%未満	合計
低位	12(66.7%)	3(16.7%)	3(16.7%)	0(0.0%)	18(100.0%)
中位	27(84.4%)	3(9.4%)	1(3.1%)	1(3.1%)	32(100.0%)
高位	18(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	18(100.0%)

学校質問紙回答_20／学校図書館図書標準が達成されていますか

	はい	いいえ	合計
低位	9(50.0%)	9(50.0%)	18(100.0%)
中位	17(53.1%)	15(46.9%)	32(100.0%)
高位	13(72.2%)	5(27.8%)	18(100.0%)

学校質問紙回答_34／国語の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか

	週1回以上	月1回以上	学期に1回以上	ほとんど、または、全く行っていない	合計
低位	0(0.0%)	3(16.7%)	3(16.7%)	12(66.7%)	18(100.0%)
中位	0(0.0%)	9(28.1%)	13(40.6%)	10(31.3%)	32(100.0%)
高位	1(5.6%)	2(11.1%)	10(55.6%)	5(27.8%)	18(100.0%)

学校質問紙回答_43／学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成 19 年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか

	はい	いいえ	合計
低位	8(44.4%)	10(55.6%)	18(100.0%)
中位	24(75.0%)	8(25.0%)	32(100.0%)
高位	14(77.8%)	4(22.2%)	18(100.0%)

表9 小学校理科（高中低）学校質問項目

	低位	中位	高位	合計
学校数	18	28	19	65

学校質問紙回答_11／児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	3(16.7%)	10(55.6%)	5(27.8%)	18(100.0%)
中位	3(10.7%)	19(67.9%)	6(21.4%)	28(100.0%)
高位	4(21.1%)	15(78.9%)	0(0.0%)	19(100.0%)

学校質問紙回答_16／通常学級に在籍している児童のうち、発達障害により学習上や生活上で困難を抱えている児童の数

	在籍していない	1人以上、5人以下	6人以上、10人以下	11人以上、20人以下	21人以上、40人以下	41人以上、60人以下	合計
低位	0(0.0%)	6(33.3%)	7(38.9%)	4(22.2%)	0(0.0%)	1(5.6%)	18(100.0%)
中位	2(7.1%)	20(71.4%)	3(10.7%)	0(0.0%)	1(3.6%)	2(7.1%)	28(100.0%)
高位	5(26.3%)	7(36.8%)	3(15.8%)	2(10.5%)	2(10.5%)	0(0.0%)	19(100.0%)

学校質問紙回答_18／学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数(事務職員は除く)

	1人未満	1人以上、2人未満	2人以上、3人未満	3人以上、4人未満	4人以上、5人未満	5人以上	合計
低位	0(0.0%)	2(11.1%)	1(5.6%)	4(22.2%)	1(5.6%)	10(55.6%)	18(100.0%)
中位	4(14.3%)	4(14.3%)	1(3.6%)	4(14.3%)	5(17.9%)	10(35.7%)	28(100.0%)
高位	2(10.5%)	4(21.1%)	2(10.5%)	2(10.5%)	3(15.8%)	6(31.6%)	19(100.0%)

学校質問紙回答_39／平成19年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか

	はい	いいえ	合計
低位	9(50.0%)	9(50.0%)	18(100.0%)
中位	18(64.3%)	10(35.7%)	28(100.0%)
高位	14(73.7%)	5(26.3%)	19(100.0%)

学校質問紙回答_43／学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成19年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか

	はい	いいえ	合計
低位	10(55.6%)	8(44.4%)	18(100.0%)
中位	17(60.7%)	11(39.3%)	28(100.0%)
高位	16(84.2%)	3(15.8%)	19(100.0%)

表 10 中学校社会(高中低)学校質問項目

	低位	中位	高位	合計
学校数	19	19	16	54

学校質問紙回答_11/生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	0(0.0%)	16(84.2%)	3(15.8%)	19(100.0%)
中位	2(10.5%)	17(89.5%)	0(0.0%)	19(100.0%)
高位	4(25.0%)	12(75.0%)	0(0.0%)	16(100.0%)

学校質問紙回答_21/「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか

	はい	いいえ	合計
低位	11(57.9%)	8(42.1%)	19(100.0%)
中位	13(68.4%)	6(31.6%)	19(100.0%)
高位	15(93.8%)	1(6.3%)	16(100.0%)

学校質問紙回答_39/平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか

	はい	いいえ	合計
低位	15(78.9%)	4(21.1%)	19(100.0%)
中位	16(84.2%)	3(15.8%)	19(100.0%)
高位	16(100.0%)	0(0.0%)	16(100.0%)

学校質問紙回答_41/平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか

	はい	いいえ	合計
低位	9(47.4%)	10(52.6%)	19(100.0%)
中位	9(47.4%)	10(52.6%)	19(100.0%)
高位	11(68.8%)	5(31.3%)	16(100.0%)

学校質問紙回答_42/平成 19 年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか

	はい	いいえ	合計
低位	6(31.6%)	13(68.4%)	19(100.0%)
中位	9(47.4%)	10(52.6%)	19(100.0%)
高位	10(62.5%)	6(37.5%)	16(100.0%)

表 11 中学校理科(高中低)学校質問項目

	低位	中位	高位	合計
学校数	16	26	15	57

学校質問紙回答_11/生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	0(0.0%)	14(87.5%)	2(12.5%)	16(100.0%)
中位	1(3.8%)	23(88.5%)	2(7.7%)	26(100.0%)
高位	5(33.3%)	10(66.7%)	0(0.0%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_12/生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	7(43.8%)	6(37.5%)	3(18.8%)	16(100.0%)
中位	11(42.3%)	14(53.8%)	1(3.8%)	26(100.0%)
高位	8(53.3%)	7(46.7%)	0(0.0%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_18/学校の職員用コンピュータ1台当たりの職員数(事務職員は除く)

	1台当たり、1人未満	1台当たり、1人以上、2人未満	1台当たり、2人以上、3人未満	1台当たり、3人以上、4人未満	1台当たり、4人以上、5人未満	1台当たり、5人以上	配備されていない	合計
低位	2(12.5%)	3(18.8%)	5(31.3%)	1(6.3%)	1(6.3%)	4(25.0%)	0(0.0%)	16(100.0%)
中位	5(19.2%)	5(19.2%)	6(23.1%)	6(23.1%)	1(3.8%)	3(11.5%)	0(0.0%)	26(100.0%)
高位	0(0.0%)	2(13.3%)	7(46.7%)	3(20.0%)	1(6.7%)	1(6.7%)	1(6.7%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_20/学校図書館図書標準が達成されていますか

	無回答・誤記入	はい	いいえ	合計
低位	0(0.0%)	6(37.5%)	10(62.5%)	16(100.0%)
中位	2(7.7%)	11(42.3%)	13(50.0%)	26(100.0%)
高位	1(6.7%)	8(53.3%)	6(40.0%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_30/学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしていますか

	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	合計
低位	8(50.0%)	7(43.8%)	1(6.3%)	16(100.0%)
中位	9(34.6%)	17(65.4%)	0(0.0%)	26(100.0%)
高位	10(66.7%)	5(33.3%)	0(0.0%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_34/国語の指導として、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか

	月1回以上	学期に1回以上	ほとんど、または、全く行っていない	合計
低位	0(0.0%)	2(12.5%)	14(87.5%)	16(100.0%)
中位	2(7.7%)	7(26.9%)	17(65.4%)	26(100.0%)
高位	2(13.3%)	2(13.3%)	11(73.3%)	15(100.0%)

学校質問紙回答_43/学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成19年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか

	はい	いいえ	合計
低位	9(56.3%)	7(43.8%)	16(100.0%)
中位	15(57.7%)	11(42.3%)	26(100.0%)
高位	13(86.7%)	2(13.3%)	15(100.0%)

表 12 中学校英語（高中低）学校質問項目

	低位	中位	高位	合計
学校数	8	26	23	57

学校質問紙回答_12／生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

	そのとおりだと思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	合計
低位	4(50.0%)	2(25.0%)	2(25.0%)	8(100.0%)
中位	11(42.3%)	13(50.0%)	2(7.7%)	26(100.0%)
高位	11(47.8%)	12(52.2%)	0(0.0%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_21／「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けていますか

	はい	いいえ	合計
低位	4(50.0%)	4(50.0%)	8(100.0%)
中位	19(73.1%)	7(26.9%)	26(100.0%)
高位	17(73.9%)	6(26.1%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_28／生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか

	よく行った	どちらかといえば、行った	あまり行っていない	合計
低位	1(12.5%)	7(87.5%)	0(0.0%)	8(100.0%)
中位	8(30.8%)	15(57.7%)	3(11.5%)	26(100.0%)
高位	9(39.1%)	14(60.9%)	0(0.0%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_39／平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか

	はい	いいえ	合計
低位	5(62.5%)	3(37.5%)	8(100.0%)
中位	22(84.6%)	4(15.4%)	26(100.0%)
高位	21(91.3%)	2(8.7%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_41／平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか

	はい	いいえ	合計
低位	3(37.5%)	5(62.5%)	8(100.0%)
中位	12(46.2%)	14(53.8%)	26(100.0%)
高位	15(65.2%)	8(34.8%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_43／学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成 19 年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか

	はい	いいえ	合計
低位	5(62.5%)	3(37.5%)	8(100.0%)
中位	11(42.3%)	15(57.7%)	26(100.0%)
高位	21(91.3%)	2(8.7%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_47/数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか

	年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った	習熟度別での少人数指導は行っていない	合計
低位	1(12.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	7(87.5%)	8(100.0%)
中位	5(19.2%)	2(7.7%)	1(3.8%)	2(7.7%)	16(61.5%)	26(100.0%)
高位	6(26.1%)	2(8.7%)	0(0.0%)	2(8.7%)	13(56.5%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_48/数学の指導として、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか

	年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った	年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った	習熟度別での少人数指導は行っていない	合計
低位	1(12.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	7(87.5%)	8(100.0%)
中位	3(11.5%)	1(3.8%)	1(3.8%)	5(19.2%)	16(61.5%)	26(100.0%)
高位	5(21.7%)	1(4.3%)	2(8.7%)	2(8.7%)	13(56.5%)	23(100.0%)

学校質問紙回答_49/数学の指導として、少人数による指導を行うにあたり、どのように指導計画や教材等の検討・決定を行いましたか

	習熟度別での少人数指導を担当する個々の教員に任せている	習熟度別での少人数指導を担当する教員同士による打合せを行った	上記②、③の両方を行った	習熟度別での少人数による指導を行っていない	合計
低位	0(0.0%)	1(12.5%)	0(0.0%)	7(87.5%)	8(100.0%)
中位	1(3.8%)	8(30.8%)	1(3.8%)	16(61.5%)	26(100.0%)
高位	3(13.0%)	7(30.4%)	0(0.0%)	13(56.5%)	23(100.0%)

小学校においては、児童の勉強に対する熱意、全国学力・学習状況調査に対する取組みなどに高位校の特徴が見られた。

中学校においては、生徒の勉強に対する熱意、朝の読書、全国学力・学習状況調査に対する取組みなどに高位校の特徴が見られた。

全国学力・学習状況調査に対する取組みが多く見られたことについては、学校の教育に対する前向きな姿勢が影響をもたらしたとも考えられる。

本研究の成果

本研究では、都道府県が独自に実施している学力調査のデータを、全国学力・学習状況調査の補完データとして用い、児童生徒の学習状況や学校における学習指導との関連を多面的に分析する手法を開発した。本研究により、全国学力・学習状況調査または都道府県独自の学力調査だけでは得られない教科や質問紙項目のデータを相互に活用し、より多面的な分析の可能性が示された。

都道府県・指定都市が独自に行う学力調査には、全国学力・学習状況調査のような項目数では、質問紙調査を実施していない例が見られる一方で、都道府県・指定都市が独自に行う学力調査では、全国学力・学習状況調査の対象教科となっていない社会、理科、英語等を実施している例がある。今回の調査分析により、データを補完し合うことで不足している部分を相互に

補える可能性が示唆された。ただし、今回は、X県から得られたデータが少なかったため、方向性の確認にとどまっていることに留意する必要がある。今後は、本分析を踏まえ、よりデータ数の多い県の学力調査を用いることなどにより、調査分析を一層進めていく必要がある

注

1. クラスター分析とは、様々な個体を、類似度の高いグループに分類する分析手法のことである。